

図書館通信

97

1991. 10

クーラー雑感

附属図書館長 吉本 健一

夏に入って、クーラーをつけた閲覧室の利用者が目立って多くなった。暑さにうだりながら、タオルとウチワ持参で、大著作と取組む学生たちの姿は今昔。

公共図書館に冷房が普及しはじめたのは、ずいぶん前のことで、夏は涼しい図書館で受験勉強をした経験者は、もう若くない世代にまでさか上がることができる。今の学生の感覚には、今年やっと閲覧室の半分にクーラーが入ったとは、国立大学ならではの遅れ方と感じられるであろう。予定では、来年度、全閲覧室冷房完備となる。

また、静大図書館の閲覧室の座席は、他の国立大学のものに比べても見劣りする、とはあちこちの図書館を見て来た金井部長の言葉である。これはよいものに取換えなければならない。

このような、図書館の利用環境を快適にするという改善は、もちろん図書館の本来のサービスの改善にとって代ることはできない。本来のサービスと考えられるものは今日膨大な量になっている。近年、電算化された情報を提供するという分野が加わった。視聴覚の分野の開拓も残されている。従来型の図書、各種紙誌に関しても量や種類が増大している。人員と財源、そしてスペースの不足は誰の眼にも明らかである。

人と金を従来の水準に押えようと、図書館の従来の機能は維持して、さらにサービスの多種多様化を進めることには無理がある。図書館運営に意欲を持てば持つほど重荷をしょい込むことになる。すべてのサービスが中途半端にならないためには、いつか、膨大なサービスの中から選択をして、重点化をはからざるを得なくなるであろう。しかし、従来のサービスの一部を止めることには全学の合意を得ることがなかなか難しいだろう。

さて、冷房の話にもどらう。私の所属する教養部の教室では6、7、9月の授業時、学生たちは窓を開けて風を入れる。前後のドアまで開けていることがある。音響効果の悪い教室にさらに外から騒音が侵入する。とくに東名高速の騒音がひどい。教師がよい講義を準備しても、学生が学習意欲を持って、多人数教育という条件下で、この騒音と戦って90分の集中した授業を続けることはできない。冷房して窓

を閉めるとすれば、一応、最大の阻害要因は取除かれる。

大学も教育というサービス業を営むと考えると、授業という本来のサービスが、冷房という二次的なサービスによって支えられるという転倒した関係に追い込まれている。

一方で、全館冷暖房完備の豪華な校舎で教育を行っている大学がある。二次的サービスが完備していれば、必ず本来のサービスが完べきであるということにはならない。冷暖房の中で精神活動が不活発になっている場合も十分考えられる。教養部の教室に冷房を入れたからといって教育が飛躍的に改善されるかどうかはわからない。ただ言えるのは、騒音という悪環境は、よいサービスと悪いサービスとの区別さえつかなくしているのである。

「ザ・パブリック・サービス」という英語がある。「公務員」の原語だそうである。ドイツ語の「ディ・バウムテン」という言葉とはずいぶんちがった内容で、考えさせられる。大学がサービス業を営むと先に言った時、私は国公立大学のことだけを考えたのではなかった。むしろ、私立大学の方がはっきりとサービス業を営む態度をとっている。

サービス業はお客が来なければ成り立たない。サービスは労働と同じく働きであるから時とともに消える。今日のサービスを明日にストックしておくことはできない。その意味でサービス業は毎日が勝負である。そこが物としての商品とちがうところである。

また、本来のサービスと二次的サービスとの関係は、現実の場面では、商品と包装紙のように、はっきり分けられるものではない。本来のサービスを快適に受けられるようにする客寄せ的サービス(これを通常日本語ではサービスと言っている)、本来のサービスへのアクセスを容易にする宣伝的、客引き的サービスは、本来のサービスとからまり合っただけのものとして現実の場では作用する。

客も本来のサービスと二次的サービスを分けて感じるひとは少なくなった。また販わっているところに居合わせることで満足度を高めてくれると感じる客が多くなった。苛烈な競争の行われる社会、業績主義がはびこる社会では、販わうところはますます販わい、さびれるところはますますさびれる。

大学や図書館は、露骨な競争や業績主義になじまない。長期にわたる視野でサービスのあり方を考えるのが望ましい。短期に成果をあげようとする思考法はむしろ害があるだろう。一般のサービス業についても、短期的な経営法は邪道である。長期経営の下ではじめて、なじみの客の意向をくみ入れ、サービスを改善していけるのである。よきサービス業は客とともに、いや客が作り上げたものである。

とくに大学や図書館は、サービスを与える側と受ける側とを対立的にとらえるのではなく、現在の学生に、将来の大学や図書館についての責任のいくばくかを分担してもらわなければならない。図書館を愛する学生は、友達をそこへ誘うであろう。誤解を恐れず言えば、その学生たちが客引きの仕事を自発的に分担するのである。誘う手前、図書館がもっと改善されることを彼らは望むであろう。そのような要望がどのようなシステムで図書館運営にくみ入れられるかが大事な課題である。

再び冷房に話をもどそう。私事にわたることであるが、私のうちは20年ほど前に、さる人からクーラーをゆずってもらった。当時、家庭用クーラーはまだ貴重品であった。二年ほど使ったが、あと冷房は止めてしまった。音がやかましかった。けじめなくクーラーに依存する生活が嫌になった。またエネルギー大量消費による環境

汚染の問題を妻とともに考えるようになった。浜岡の原発設置反対運動が起った頃であった。

石油、石炭、核燃料を大量に燃やすと、それぞれ回復不能の環境破壊を引き起す。すでにその破壊の状況は深刻なところに来ていることは、国際会議をはじめさまざまの形で報告されている。さらに地球上の発展途上国の40億の人間が15億の人間が使っているように大量のエネルギーを消費する生活をめざしているかもしれない。発展途上国の「発展」とはそういうことである。

私たちは二方向に引きさかれている。政府も一方で「省エネ」を奨励せざるをえない。私たちは近い将来、化石、核燃料によるエネルギー消費を10分の1にしなければならない。一方で風力発電などのソフトエネルギーの開発を進めなければならない。将来の省エネルギーの生活スタイルを経済的基礎の上に乗せなければならない。その時、図書館の冷房はどのような形になっているであろうか。

CD-H I A S K を使う！

■ CD-H I A S Kとは？

現在2枚のCDがあり、略さずに書くとCD-H I A S K' 89とCD-H I A S K' 90となる。朝日新聞の、前者は1989年、後者は1990年の全文が収録されている。前号で「学術雑誌総合目録」にふれ1枚のCDの中に8冊分の内容を含んでいる、とあったが、その量にピンとこなかった人でも、こちらは分かるはず。'89には、86-88年の(文章はつかないが)総索引がオマケにつき、'90では東京本社版のほか大阪、九州、名古屋の各本社分も収録されている。ただし、このどちらにもスポーツ記事は収録されていない。キーワードとして《桑田》を打ち込んでも、彼が社会的事件でも起していない限り?!、ヒットすることはない。

■ まず、参考調査係に申し込む

当分の間、参考調査係のカウンターの内側にあるパソコンを使用してもらうこと

図1

CD-DISC0016		タイトル: CD-H I A S K		ファイル数: 7	
No.	ファイル表題	収録件数	積断		
1	H I A S K ' 89. 1 ~ 3月 情報提供: 朝日新聞社	17,637	1		
2	H I A S K ' 89. 4 ~ 6月 情報提供: 朝日新聞社	19,014	1		
3	H I A S K ' 89. 7 ~ 9月 情報提供: 朝日新聞社	18,325	1		
4	H I A S K ' 89. 10 ~ 12月 情報提供: 朝日新聞社	18,167	1		
5	総索引 ' 86. 1 ~ 12月 情報提供: 朝日新聞社	53,878	1		
6	総索引 ' 87. 1 ~ 12月 情報提供: 朝日新聞社	58,088	1		

○ 検索する対象のファイルを選んでください。

実行文 換 ヘルプ 印刷終了

になるので、使いたいと思ったら、参考調査係に申込みセットしてもらう必要がある。

図1は、'89のCDをセットした時の、最初の画面。図に出ていない88年分の総索引(カソルを動かすと6の下に7として

いへん有効。たとえば、「トシヨカン」の下に「コツカイ」を入力し、多分すごい数のヒットになるが、この時「保存」を押すと、自動的に先程の222との間で論理演算をする。「トシヨカン」の次に「コツカイ」を入力したのは、「国会図書館」という言葉を目的としたからだろうし、この論理演算の結果は、まさにそれ。

図4

CD-DISC0016 ファイル：1,2,3,4		全件数：73,143	
検索状況 前回までの件数：222		ファイル数：4	
No.	項目	条件	件数
01	キーワード(カナ)	トシヨカン	222
<p>○ ファンクションキーで処理を選択してください。</p> <p>保存 ロギック 印刷 終了</p>			

図5

CD-DISC0016 ファイル：1,2,3,4		全件数：73,143
結果一覧 前回までの件数：222		ファイル数：4
No.	内容	
1	いろいろあるよ「サルカニ合戦」旭川のグループが「発見」 89.1.4 夕刊 10頁 写真無 (全573字)	
2	古書の街で：2 「高買イトシドン」(昭和にんげん史) 89.1.5 夕刊 3頁 写真有 (全1744字)	
3	古書の町で：5 逸品誇る記念目録(昭和にんげん史) 89.1.11 夕刊 3頁 写真有 (全1737字)	
4	古書の街で：6 収集家の心生かす(昭和にんげん史) 89.1.12 夕刊 3頁 写真有 (全1709字)	
5	「半ドン」が消える(天声人語) 89.1.14 朝刊 1頁 写真無 (全839字)	
6	電子図書館で調べた「消費税」 際立った流通業界の関心度 89.1.17 朝刊 4頁 写真無 (全1979字)	
7	兼業主夫 人生を2倍生きている(それぞれの椅子) 89.1.17 朝刊 16頁 写真有 (全1729字)	
8	定期券の解約はなぜ利用者が損をするのか(根ほり葉ほり)	
<p>○ 出力形式と番号を入力してください [1][6] 1次画面あり 詳細 ヘルプ</p>		

図6

CD-DISC0016 ファイル：1,2,3,4		全件数：73,143
詳細表示		ファイル数：4
[6]		
● 記事番号 ● 890117032		
● 見出し ● 電子図書館で調べた「消費税」 際立った流通業界の関心度 89.1.17 朝刊 4頁 写真無 (全1979字)		
● 全文 ● 便乗値上げ、消費者まだ素直 ことしの経済界、とりわけ販売の第一線にとって、4月からの消費税の 施は最大の課題点であろう。一体、この問題が新聞、雑誌などの活字媒体 どの程度、どんな観点から取り上げられているのか。朝日をはじめ全国の 要新聞、専門紙、雑誌の記事を電子でスクラップしているエレクトロニッ ・ライブラリー(略称E.L、本社東京、資本金15億5000万円、本 平社長)を利用して調べてみた。 (大谷健爾編集委員)		
E.Lは昨年1月1日からデータを入力しており、昨年末ですてに43万 595件を集めた。だがE.Lの膨大なデータが、逆に利用者には欠点とな る。処理し切れない膨大なデータを前に遠方にくれてしまうからだ。そこか 役に立つデータを選択するには「キーワード(カギになる言葉)」を必要 とする。キーワードを使いこなさないと、膨大なデータの山も宝の持ちぐさ		
- 見 次画面 モード ヘルプ ロギック 印刷 終了		

図5で、「詳細」(F1)を押すと、その上に「出力形式と番号を入力してください」と表示が出るので、その指定をする。図のように1-6とすると、図6の「●全文●」となり、その行までで表示が終了。簡略表示と言われるもの。図6のように、全部を表示したい時は、2-6と入力する。

88年1年間を通じて図書館に関する記事が222だった。この数字、微妙な線で、日本に何千も図書館があることを考えると、少ない、と思えるし、3日のうち2日は取りあげられる、と見れば、多いともとれる。特定の出来事を検索するのも良いが、CD-ROMでは、このよう(8ページへ)

中学生が見、感じた大学図書館

- 毎年4月末、教育学部附属島田中学校の新入生が、その最初の遠足で大谷キャンパスを訪れる。いくつかある見学先のひとつに図書館が含まれている。本記事はその時の生徒たちの感想文。日常的に接しているとほとんど気が付かないことでも、生徒たちの目で見ると驚きの対象となるようだ。

まず、図書館の物理的な大きさに驚くようだ。彼らの感想文でも、このことに触れたところが、もっともストレートな表現になっている。

僕は、この図書館を見学に行く前にいろいろな想像をしたけれど、実際の図書館は、僕が想像していた物よりずっと大きくて見た時はびっくりしました。

大きさだけでなく本の数にもびっくりしました。(YT)

図書館は、先輩たちからきくと、大きいといっていたけれどふつうの図書館だろうなあと思っていました。だけど、実際はものすごくひろくて私たちの附属中の図書室とは、比べものにならないほどだなあと思いました。やはり、館と室の差は、大きいなあと思いました。(YS)

ぼくが、図書館を見てまず思った事は、とてつもなく広いという事です。1階だけでも学校の図書室の3倍以上あるくらいなのに、それが6階まであるのにはとてもおどろきました。だから本も信じられないくらいありました。(ZT)

ここにも一部でてきているが、次は中身のこと。入れものが大きければ、当然内容も豊富でなくてはならないが、生徒たちは、どう感じただろうか。

静大の図書館を見学してみて、一番初めに思ったことは、とにかく広くいろいろな種類の本がたくさんあったということです。このことは、図書館を見学する前にしていた予想よりもはるかに広く、説明を聞くたびにおどろくことばかりでした。辞典や辞典の中に書いてある内容も広くあってこれでは何かを調べる時に資料がありすぎてこまるんじゃないかとおもわず思っていました。(TK)

日本語のものだけでなく、英語、中国語のもの、新聞など、きれいにたなに入っていて、本当に自分が本にうずまっている様でした(SM)

英語の本、雑誌、新聞まで、古いものまで、きれいにきちんと整頓して保ぞんしてありました。だれがこんなにあつめたんだらうと、とてもすごいなとおもいながら、みていました。(SK)

外側だけでなく、中身のほうも、とりあえずは合格のようだ。もっとも、想像していたものより、はるかに大きな建物初めて接する膨大な量の外国語の本や雑誌、さらに「迷路みたいで、少し迷いそうだった」うえに「地かが、あって急なかいだんを何回かおりて、下の所へ行って、ボタン一つでうごく本だなもありま

した」ということになると、驚きが正の評価のごとく見えるだけ。図書館としての機能が充実している、という評価がされている、という訳にはいかない。

驚いてばかりではられない、という訳でもないだろうが、そんな中できわめて注意深く観察をしている生徒がいる。

本の多さにもびっくりしました。60万冊以上かといっていたので、探すにコンピュータは必要だなと思いました。結構、昔の新聞も置いてあって、記事の書き方のちがいも見られて、面白かったです。広告とか、活字とか今より形が面白いと思いました。色々なことが見学できてとても面白かったです。 (Y I)

この大学にない場合は、他のどこの大学にあるかまでわかるのだから人類の科学の進歩のすごさには、もう言うことがありません。これ以上進歩したら恐ろしいくらいです。ここでぼくが感心したことは、ただたくさん本が置いてある——というだけじゃなくて、本をより長く保管するために湿度などを考えて保管したり、雨の多い時には、除湿機などをかけたりして本を大切にしているということです。これはとても大事なことだと思います。 (K T)

興味深いのは次の点。大学の図書館としては、必ずしも静かとは思えない本図書館だが・・・

次に感じたのは学生さんがたくさんいるのにとっても静かだということです。小声で話しても目立つくらいです。みんなしんげんに勉強に取り組んでいるのだろうな、と思いました。私たちも見ならおうと思います

(S N)

真剣に勉強をしている、と自信を持って言える静大生はどのくらいいるのだろうか——また、中にいると決して充実しているとは思えないが、生徒たちには静大はうらやましい所ようだ。

本がたくさんあれば、たくさん資料があり、勉強のわからないところなどが、とてもよくわかると思います。私は、5階から、湾などとてもいい景色が見えることに、いいなあとおもいました。いい景色が見えるところで勉強できるなんて、最高だと思います。 (T I)

私は、本を読むのが大好きです。だから「図書館」という言葉にとっても興味があります。私がもしこの大学に入学できたら、この図書館の本をできるだけ多くの種類を、できるだけ多くの数の本を読んでみたいです。この図書館の見学で、今までよりいっそう本への興味が深まりました。これからも良い本をたくさんよみたいです。 (A S)

静大に入れたら、思いっきり図書館を使ってみたい、と述べる生徒が多かった。当方としてもガンバラネば——最後にお礼の言葉。

ひろい図書館の中をいっしょうけんめい教えて下さった方々どうもありがとうございました。私が図書館でまよってしまった時、親切に指導していただきました。 (A K)

それから、やさしいお兄さんや、おばさんたちが詳しく教えてくれたことを、感謝しています。 (Y M)

(5ページから)に、新聞紙上でどんな言葉が使用されたか、などの調査も可能。それらの組合わせを調べることともできる。思わぬ結果が出てこないとも限らないので、そうした使い方に挑んでみるのも良いだろう。

図 7

CD-DISC0016 ファイル: H I A S K ' 8 9 . 1 ~ 3 月		全件数: 17,637	
検索条件 前欄までの件数: 0			
No.	項目	条件	番号 件数 名称
1	キーワード(カナ)	コッカイ	#00001 702 コッカイ
2	キーワード(漢字)		#00002 1 コッカイインカイ
3	主題分類コード		#00003 2 コッカイインカイ
4	主題分類(カナ)		#00004 1 コッカイインカイキ+キ
5	主題分類(漢字)		#00005 13 コッカイウンエイ
6	国別分類コード		#00006 2 コッカイエンガン
7	国別分類(カナ)		#00007 2 コッカイエンセフ
8	国別分類(漢字)		#00008 1 コッカイエンチュウ
9	記事種別分類コード		#00009 2 コッカイカイカイ
10	写真・図の有無		#00010 1 コッカイカイカイシキ
11	掲載日付、頁		#00011 1 コッカイカイカイチュウ
12	索引記事番号		#00012 3 コッカイカイカク

○ 番号を入力して下さい。[]

ブラウズ 印刷終了

■ ブラウズと部分一致

先に「国会」をキーワードにとると、大きな数のヒット件数が出るだろうと書いた。実際に行ってみると、88年の1-3月分のファイルだけで、702と出る。これでは扱いにくいし、實際上、国会の全部に係る概念で引くことは少ない。もっと小さな部分を対象とすることが、ほとんどだろう。図7は、「コッカイ」をブラウズしたところ。ここに現われたものをキーワードにとれば、より効果的な検索ができる。

反対に、検索対象を拡げる手もある——前方一致、後方一致、任意(前後方)一致、両側一致がある。この最後のものが少々面白い。キーワード中の@で分離された左側が検索キーの左側に含まれ、かつキーワードの右側が検索キーの右側にも含まれるものがヒットする。キーワード「自@車」に対し「自転車」「自動車」「自力走行車」がヒットする。(ただし、数字の場合は機能しない)

閲覧室に冷房装置入る

この7月から5階閲覧室に冷房が入り、夏休み中、例年になく多くの利用者がありました。来年には、3、4階閲覧室にも入る予定です。なお、冷房装置運転には、次のようなガイドラインがあります。

1. 運転条件: 室内温度が28度C以上
2. 期間: 7月10日から9月15日
3. 時間: 通常時 月-金 8:30-20:00
土 8:30-16:00
休暇中 月-金 8:30-17:00
土 8:30-12:00